

令和8年度

1級土木施工管理技術検定第二次検定

解 答 試 案

※ご注意※

- ・本解答は令和8年10月8日にCIC日本建設情報センターが独自に制作・編集したもので、予告なく変更する場合がございます。また、CIC日本建設情報センターが独自の見解に基づき制作したもので、試験結果等について保証するものではありません。
- ・解答試案の内容及び正当性に関するお問い合わせは受け付けておりませんので悪しからずご了承ください。
- ・試験実施機関の(一財)全国建設研修センターとは一切関係ございません。



日本建設情報センター

<https://www.cic-ct.co.jp>

不許複製

必須問題

【問題 1】

※施工経験記述問題のため、解答例は省略します。

【問題 2】

記号	適切な語句又は数値
イ	1.5
ロ	呼び
ハ	最大
ニ	成績表
ホ	0.3

【問題 3】

排出事業者(元請業者)が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「建設廃棄物処理指針」に基づき、建設廃棄物を現場内で保管する場合の具体的な措置について、以下の中から5つを選び解答欄に記述する。

	具体的な措置
①	廃棄物が飛散・流出しないようにし、粉塵防止や浸透防止等の対策をとる。
②	悪臭が発生しないようにする。
③	保管施設には、ねずみが生息しないようにし、蚊、はえその他の害虫が発生しないようにする。
④	可燃物の保管には、消火設備を設ける等、火災時の対策を講じる。
⑤	作業員等関係者に保管方法を周知徹底する。
⑥	廃泥水等液状又は流動性のあるものは、貯留槽で保管する。また、必要に応じ流出事故を防止するための堤防等を設ける。
⑦	がれき類は崩壊、流出等の防止措置を講ずるとともに、必要に応じ散水を行う等、粉塵防止措置を講ずる。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

※問題 4～問題 11 までは選択問題(1)，(2)です。

問題 4～問題 7 までの選択問題(1)の 4 問題のうちから 2 問題、問題 8～問題 11 までの選択問題(2)の 4 問題のうちから 2 問題を選択し解答してください。

選択問題 (1)

【問題 4】

記号	適切な語句
イ	水和
ロ	温度
ハ	せき板
ニ	早強
ホ	振動

選択問題 (1)

【問題 5】

記号	適切な語句
イ	仕様書
ロ	施工者
ハ	基準値
ニ	回数
ホ	走行位置

選択問題 (1)

【問題 6】

記号	適切な語句
イ	防網
ロ	要求性能
ハ	手すり
ニ	フルハーネス
ホ	特別教育

選択問題 (1)

【問題 7】

記号	適切な語句又は数値
イ	7
ロ	促進
ハ	調査
ニ	特定
ホ	指導

問題 8～問題 11 までの選択問題 (2) の 4 問題のうちから 2 問題を選択し解答してください。

選択問題 (2)

【問題 8】

道路土工の切土法面施工時における排水処理の具体的な措置について、以下の中から 2 つを選び解答欄に記述する。

	具体的な措置
①	切土の表面に 3 % 程度の勾配をつけ、滑らかに整形する。
②	切土部は、常に切土法面からの雨水などが湛水しないように法尻部にトレンチを設け排水する。
③	法面を表流水等が流下しないように、法肩排水や小段排水を設ける。
④	地山の崩壊は、ほとんどが不完全な排水処理によって生じているため、排水工の位置を決定する場合には十分な現地踏査を行う。
⑤	切り盛りの接続区間では、雨水等が盛土部に流入するのを防ぐために、切土と盛土の境界付近にトレンチを設ける。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

選択問題 (2)

【問題 9】

コンクリートに発生したひび割れの状況図について、下記の①～④から2つ選び、番号とその防止対策を以下の中からそれぞれ1つ選び解答欄に記述する。

選択肢	防止対策
①沈みひび割れ	・ AE 剤、AE 減水剤等を用いて単位水量をできるだけ少なくする。 ・ こて仕上げの段階で、タンピングで修復する。 ・ 打ち込み速度を遅くする。
②凍害によるひび割れ	・ 凍結した骨材または冰雪の混入している骨材は、そのまま用いない。 ・ コンクリートの打ち込み時には、鉄筋、型枠等に冰雪を付着させない。 ・ 打ち込み後の初期に凍結しないように十分保護し、特に風を防ぐ。
③水和熱による温度ひび割れ	・ コンクリートの温度をできるだけ緩やかに外気温に近づける。 ・ コンクリート表面の急冷を防止するため、シートなどによりコンクリート表面の保温を継続して行う。 ・ 単位セメント量をできるだけ少なくする。
④アルカリシリカ反応によるひび割れ	・ 骨材のアルカリシリカ反応性試験の結果で無害とされた骨材を使用する。 ・ コンクリート中のアルカリ総量を $3.0\text{kg}/\text{m}^3$ 以下とする。 ・ 高炉セメント B 種を使用する。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

選択問題 (2)**【問題 10】**

安全管理上必要な労働災害防止対策に関して、クレーン等安全規則に定められている措置を2つ、解答欄に記述する。

	クレーン等安全規則に定められている措置
①	作業の方法、転倒防止の方法、作業員の配置及び指揮の系統を定め、作業開始前に関係労働者に周知させる。
②	アウトリガーは、移動式クレーンに掛ける荷重が当該移動式クレーンのアウトリガーの張り出し幅に応じた定格荷重を下回ることが確実に見込まれる場合を除き、最大限に張り出さなければならない。
③	移動式クレーンの運転について一定の合図を定め、合図を行う者を指名して、その者に合図を行なわせなければならない。
④	移動式クレーンの上部旋回体と接触することにより危険が生ずる恐れのある箇所に立ち入ることについて、禁止する旨を見やすい箇所に表示することその他の方法により禁止する。
⑤	吊り上げられている荷の下に作業従事者が立ち入ることについて、禁止する旨を見やすい箇所に表示することその他の方法により禁止する。
⑥	強風のため、移動式クレーンに係る作業の実施について危険が予想されるときは、当該作業を中止する。
⑦	キンクしたワイヤーロープ、著しい形くずれ又は腐食があるワイヤーロープを玉掛け用具として使用しない。
⑧	移動式クレーンの運転者及び玉掛けをする者が当該クレーンの定格荷重を常時知ることができるよう、表示その他の措置を講じる。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

選択問題 (2)

【問題 11】

建設工事に伴う騒音を防止するための具体的な対策又は調査を5つ、解答欄に記述する。

	具体的な対策又は調査
①	作業待ち時は建設機械のエンジンをできる限り止め、騒音を発生させない。
②	騒音の発生期間を短縮し、建設機械が一時的に集中して稼働しないよう工事計画を工夫する。
③	建設機械の整備不良による騒音が発生しないよう、点検、整備を十分に行う。
④	遮音壁・遮音塀・遮音シートを設置し、騒音を低減させる。
⑤	バックホウにより定置して掘削を行う場合は、できるだけ水平に据え付け、片荷重によるきしみ音を出さないようにする。
⑥	低騒音型建設機械の選択を検討する。
⑦	工事の円滑を図るとともに現場管理等に留意し、不必要な騒音を発生させない。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。